



九州大学主幹教授制度について

概 要

九州大学は、学術憲章に示すとおり、諸々の学問における伝統を基盤として新しい展望を開き、世界に誇り得る先進的な知的成果を産み出してゆくことを使命としており、そのためには、自由闊達な発想と洞察でもって、常に高みを目指し、新しい地平を切り開いてゆく挑戦が求められます。

そこで、このような高度の研究活動を推奨・支援し、さらに活性化させるために、本学の教授のうち、その専門分野において極めて高い業績を有し、かつ、本学の研究戦略の先導的な役割を担う者に「主幹教授」の称号を付与する制度を制定しました。

■背 景

九州大学は、教育憲章や学術憲章に示すとおり、世界第一線級の教育・研究と診療活動を展開し、アジアに開かれた知の世界的拠点大学として、また、日本を代表する基幹総合大学として、都市と共に栄え、市民の誇りと頼りになる大学として発展し続けることが期待されています。

有川総長は就任に際して、このような本学の理念に基づき、5つの具体的な活動指針（①自由闊達な研究を支援、②気付かせる教育を目指す、③頼りにされる社会連携を実行、④記憶に残る国際連携を実現、⑤元気の出る大学の運営）を定めました。

この活動指針の一つである、「自由闊達な研究活動を支援する」に基づき、有川総長自らの発案により、「主幹教授」制度を制定することとなりました。このような制度は、西日本地区では初めての試みであり、さらに、次の内容に示すような学内支援を行うことは、国立大学では初めてのものになります。

■内 容

九州大学の教授のうちで、グローバルCOEプログラムや科学研究費補助金の大型種目など、競争的資金制度の研究代表者等で、かつ、その専門分野における業績が極めて顕著であり、将来にわたり本学の研究活動の推進に中核的な役割を果たすことが期待される者に、公平性・透明性のある選考により「主幹教授」の称号を付与します。

この称号を付与された者には、給与面で優遇措置を行います。さらに当該研究者の研究プロジェクト名を冠したセンターを設置し、あわせて当該研究の更なる発展を図るために、外国人研究者を雇用する経費等として、年間最大で2千万円を配分します。

■効 果

「主幹教授」制度の導入によって、自由闊達な研究をより一層活性化させることを期待します。この他にも九州大学には、研究・産学官連携活動に貢献した教員を表彰する「九州大学研究・産学官連携活動表彰制度」や学部の教養教育（本学では全学教育という。）に係る教育活動等が他の教員の模範となる者を表彰する「九州大学全学教育活動表彰制度」などがあり、これらの制度を効果的に活用して、すべての学生・教職員が自信と誇りをもって勉学に勤しみ、職務に精励できるような環境を整備することによって、有川総長が提唱する「元気の出る大学の運営」を強力に推し進めることとなります。

■今後の展開

今後、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」で明示された大学の機能分化がより強く求められていく中で、「主幹教授」は、研究成果や知見を広く世界に発信し、将来にわたり九州大学の研究活動の推進に中核的な役割を果たすことにより、九州大学が世界的研究・教育拠点として持続的に発展していくものと考えております。

【お問い合わせ】

企画部企画課専門職員 西村 大

電話：092-642-2238

FAX：092-642-2242

Mail：kiksomu@kyushu-u.ac.jp